

12月のほけんだより

和歌山県立田辺工業高等学校 保健室 2022年12月号 (Vol.16)



12月に入り、霜や氷の便りが届き始めました。

新型コロナウイルス感染症はまったく収まる気配がなく、田辺保健所管内でも毎日100人を超える罹患者の報告があります。

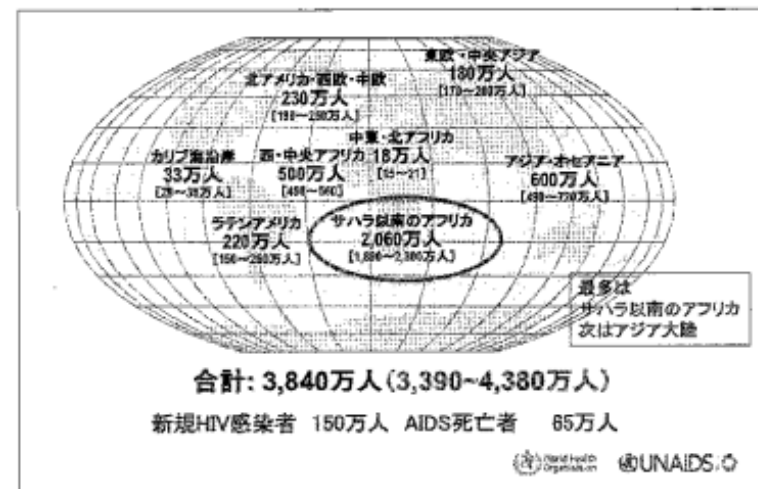
感染拡大予防策のひとつとして、換気が有効とされています。寒い毎日が続いていますが、教室や更衣室、車内の換気を心がけましょう。

併せて、3密の回避、マスク着用、手洗いの徹底、食事や睡眠、運動に留意し、免疫力を落とさないことなど、これまで継続している感染防止策をお願いします。

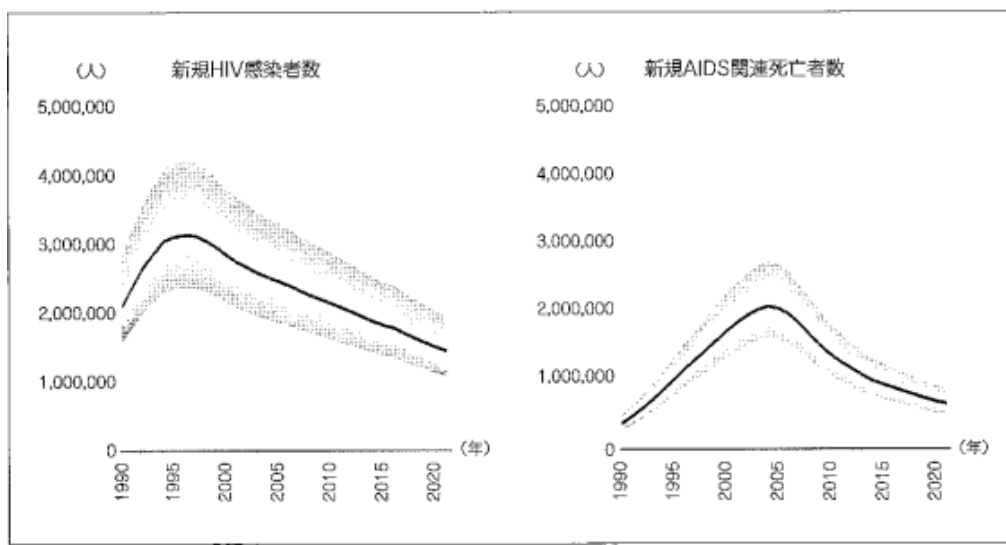
12月1日世界エイズデー

世界の感染者数は減少傾向に
 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) が32022年7月に報告した世界のエイズ動向を、図1・2に示しました。いまだに2021年の推定値ですが、HIV感染者は3840万人、新規感染者は150万人、エイズ死亡者は65万人とされています。1日あたり約4000人の新規感染者が推定されており、感染地域は58%がサブサハラ・アフリカ (サハラ砂漠より南の地域)、年齢では15歳以上が約3600人、性別は49%が女性です。

感染経路と予防法を確認しておきましょう
 感染経路は主に、性的接触・血液媒介、母子感染です。性行為では男性同性間、男女ともに肛門性交での感染率が高く、男女間の膣性交が続きます。口を用いた性行為は、感染率は低いもののセロマはありません。いすれもコンドーム装着で感染を防止します。



●図1 世界の推定HIV感染者数 (2021年現在) 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の報告Core epidemiology slidesより改変。



●図2 世界の推定HIV感染者と推定AIDS関連死亡者数の年次推移 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の報告Core epidemiology slidesより一部改変。

今号はM3Bの保健委員さんがエイズについて調べて作成してくれました。
 新型コロナウイルス感染症の陰に隠れてHIV感染やAIDSの報道は少なくなっていますが、世界的にも大きな問題となっています。
 この機会に正しい知識を持ち、自分の行動に生かせるようになってほしいと思います。



裏もあります→